

兵高教組

# 調査情報

2014年3月20日

48号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : [honbu@hyogo-kokyoso.com](mailto:honbu@hyogo-kokyoso.com)

## 県教委が強制配転を内示

# 県立農業高校の青年教職員への異動内示を撤回せよ!

3月20日、県教委は高教組の強い反対にもかかわらず、異動希望も出していない青年教職員に、初任から6年という理由だけで、強制配転の内示を発しました。しかも県農の玉木崇久校長は、内示の日まで意向打診を行わず、全くの不当人事です。また、来年度高教組中央執行委員になる彼を異動させるという不当労働行為でもあります。これが県教委のいう「丁寧な人事」でしょうか。高教組は、この異動内示を撤回することを求め、初任者に対する異動方針を見直すように強く迫ります。26日の「抗議集会」にご参集ください。

### ●異動内示の問題点

#### 1. 強制配転、しかも意向打診なし

県農の校長は、計画交流対象者であることのみを県教委に伝え、本人は異動希望カードも提出していません。また内示の日まで、本人に異動の有無を前もって全く伝えていないのは、極めて不誠実な人事です。

#### 2. 教育より、県の異動方針を優先

彼は、初任から県農に勤務して6年目ですが、今年度2年生の担任をしています。来年度は3年生を担任して卒業させたいと強く望んでいました。しかし県教委や校長は、このような生徒たちへの思いや学校現場の実情、教育の現状よりも、自らの異動方針（初任者は4年～6年で異動する）を最優先させました。このような機械的な人事異動は教育にとってはマイナスにしかありません。

#### 3. 初任者を4～6年で機械的に転勤させる人事異動方針に問題

そして、県教委の「計画交流」の方針そのものに問題があります。「初任者については、4年から6年で必ず異動させる」という方針が、学校現場を混乱させ、教育そのものへの弊害となっているケースが多くあります。なにより、青年教職員の意欲や志気を低下させており、教職員を駒のように異動させる方針に対して、現場からは大きな不満の声があがっています。

### ●兵庫の教育のために丁寧な人事を

県教委のすすめる計画交流で、兵庫県の教育や学校現場は決してよくなりません。県下の青年教職員に対する不当な人事方針をあらため、丁寧な人事に変えなくてはなりません。

### ●高教組の要求

1. 県農の強制配転は撤回すること
2. 新採用者に対する人事方針を変更すること
3. 機械的な人事をやめること

以上の要求で青年教職員の権利を守るために高教組は闘う方針です。賛同される方々や特に青年教職員の多くの参加で、下記の抗議集会を成功させましょう。

## 強制配転に対する 抗議集会

2014年3月26日(水)

13時30分～14時30分

高教組本部 多数の参加を!